

## クリニカル・ラダー Lv.4 放射線治療領域

大項目	中項目	小項目	項目
外部照射放射線治療	放射線治療概論	患者対応	放射線治療患者情報と患者状態を加味した個別の治療方針の確認するシステムの共有化ができています。
			円滑な放射線治療計画・業務管理をしており、患者治療情報の正確な取得ができる。
			検査予約の変更・緊急検査などに速やかに調整し関連部署と適切な対応をしている。
			コミュニケーションをとり、治療法やそれに伴う副作用の説明など患者の質問に適切に対応し経験を蓄積している。
	照射技能		放射線診療部門と連携しながら当該部門を統括し、安全で質の高いサービスを提供することに努めている。
			固定具、補助具の安全性確認と作業工程でのスタッフの安全管理ができる。
			CRやEPIDの機器管理および記録の整備ができる。
			各装置のビームデータの精度管理および記録の整備ができる。
			照準写真の照合・治療方法のチェック・照射経過に伴う再評価などの線量評価点の照合ができ、記録の整備と管理ができる。
			治療計画の評価ができる。線量分布とMU値の照合（モニター単位の計算、実測によるモニター単位数の照合および決定）・独立検証ができ、記録の整備と管理ができる。
治療計画		患者の状態を加味した治療計画データを総合的に判断できる。	
		治療計画装置の機器管理および記録の整備ができる。	
		施設に応じた品質管理プログラムを作成することができる。	
		IT化の促進、法令の遵守、スタッフの管理と指導ができる。	
品質管理・品質保証		機器の経年劣化、異常や故障などの機能変化の傾向を把握した保守管理ができる。	
		トラブルのあったデータを解析しその対策と管理ができ、記録の整備ができる。	
		事故情報の記録と必要に応じた開示に対応できる。	
		品質管理用測定器や環境測定器などを整備し管理ができる。	
放射線計測		放射線計測用測定器の管理と記録の整備ができる。	
		放射線計測用測定器を整備することができる。	
密封小線源治療	品質管理・品質保証	施設に応じた品質管理プログラムを作成することができる。	
		密封小線源治療の分類、線源の種類、照射法、密封小線源装置および線源の安全について詳細に説明ができ、管理ができ、記録の整備ができる。	
		密封小線源治療装置の機器管理と安全管理ができ、記録の整備ができる。	
重粒子線治療	品質管理・品質保証	施設に応じた品質管理プログラムを作成することができる。	
		線源、線質の種類、線量率効果、分割法の特徴を理解し、詳細に説明でき、管理ができ、記録の整備ができる。	
		重粒子線治療装置の機器管理と安全管理ができ、記録の整備ができる。	
放射線安全管理・コンプライアンス・リスクマネジメント	放射線安全管理・コンプライアンス	放射線安全管理の法令を遵守するための書類やマニュアルを作成することができる。	
		放射線治療に関する法令を遵守するための書類やマニュアルを作成することができる。	
	リスクマネジメント	当日の業務を円滑に行えるよう装置の動作確認および点検をし記録の整備と評価ができ、マニュアルを作成することができる。	
		次の業務を円滑に行えるよう装置の動作確認および点検・整理整頓・清掃をし、記録の整備と評価ができ、マニュアルを作成することができる。	
データ管理・判断	治療診療記録・カルテ・画像管理	放射線治療に関するデータの総合管理ができる。	
		放射線診療部門と協働できるよう部下に臨床診断学や治療技術を習得させ、そのために必要な管理や指導を行うことができる。	